

2

フロンのなかまたち

フロンは、性質ごとに大きく6つの種類に分けることができます。以下にそれぞれについてわかりやすくまとめてみました。

シーエフシー
CFC
(特定フロン)



正式名：クロロフルオロカーボンズ

このフロンは最初に登場し、私たちの生活を快適にするために長い間使われてきましたが、オゾン層を破壊することと、地球温暖化の原因にもなることがわかり、生産が中止されました。

オゾン層破壊パワー：100
温暖化パワー：8500 (CFC-12)
1995年末生産中止

エイチシーエフシー
HCFC



正式名：ハイドロクロロフルオロカーボンズ

CFCが生産規制されるようになったことによってHCFCの使用が増加。オゾン層を破壊する力は弱いですが、地球温暖化を進める力は強く、2019年末に実質消費の中止が決まっています。

オゾン層破壊パワー：6
温暖化パワー：1700 (HCFC-22)
2019年末実質消費中止

エイチエフシー
HFC
(代替フロン)



正式名：ハイドロフルオロカーボンズ

塩素を持たず、オゾン層を破壊しません。CFCやHCFCの替わりに使うようになり、生産が増えています。しかし、地球温暖化を進める力が強いので、環境にやさしいとは言えません。

オゾン層破壊パワー：0
温暖化パワー：675 (HFC-32)
生産規制なし

ピーエフシー
PFC



正式名：パーフルオロカーボンズ

オゾン層は破壊しませんが、地球温暖化を進める強い力を持っています。半導体を作るために大量に使われています。一度放出したら数万年間も残ります。

オゾン層破壊パワー：0
温暖化パワー：6300 (PFC-14)
生産規制なし

イスエフシックス
SF₆



正式名：六フッ化硫黄

オゾン層は破壊しませんが、地球温暖化を進める強い力を持っています。変電所などで絶縁ガスとして使われています。大気中に出さないことが必要です。

オゾン層破壊パワー：0
温暖化パワー：24900
生産規制なし

エヌエフスリー
NF₃



正式名：三フッ化窒素

オゾン層を破壊しませんが、地球温暖化を進める強い力をもっています。半導体や液晶の製造で大量に使われています。

オゾン層破壊パワー：0
温暖化パワー：17200
生産規制なし

右手に矢を持っているフロンは、オゾン層を破壊するフロンです。オゾン層破壊パワーの数字はCFCのパワーを「100」としたときの比です。フロンはオゾン層破壊を引き起こすだけでなく、地球温暖化の原因にもなります。温暖化パワーで示された数字は、二酸化炭素のパワーを「1」としたときに、その何倍の効果があるかということを表しています。